



段ボールコンポスト ヒント集 春



皆さんの段ボールコンポストは順調でしょうか？
冬の間お休みをしていた方も、そろそろ再開できる季節になりました



ヒント1 休止していた段ボールコンポストを再開したい

生ごみの投入を再開すれば大丈夫ですが、一度母材の状態をチェックしてみましょう！

- 水分量を確認する
 - さらさらしているようであれば、最初と同じように少しずつ水分を加える。ぎゅっと握ってほろほろ崩れる程度が理想です。
- 温度が上がるか確認する
 - 生ごみを入れて温度が上がらないようであれば米ぬか、廃食用油を入れる。

ヒント2 そろそろ肥料として使いたい

- 肥料にするためのスリーステップ
 - ①生ごみの投入をやめる
 - ②生ごみが無くなるまで、そのまま1～2週間程度かくはんする
 - ③肥料として使用する
- 一部分を肥料として使用する
 - 一度に全てを肥料として利用するのではなく、一部分だけ使用することも可能です。別の段ボール等に使用したい分だけ移し、スリーステップ行ってください。
 - ※取り出して母材が少なくなったら、竹粉やおが屑などを追加しましょう。
- 分解されずに残ったものはどうすればいいの？
 - ◆ふるいにかけて分解されなかったものは可燃ごみとして出す
 - ◆そのまま肥料として使う
 - ※骨・貝殻以外はゆっくりですが分解されます。気にならないようであれば、そのまま土に混ぜて使用してください。

ヒント3 段ボールなどが痛んできた

□ 段ボール

- ご家庭のサイズにあった段ボールを探しましょう。
野菜や果物が入っていた段ボールが丈夫でオススメです。

□ ネット（母材が入っているもの）

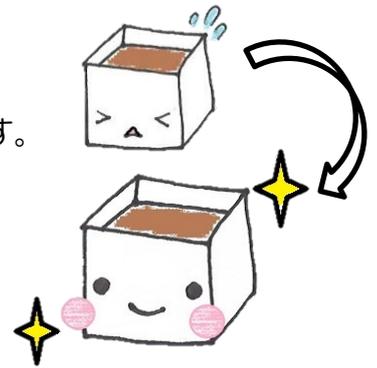
- 目の細かい洗濯ネットで代用できます。

□ キャップ（段ボールコンポストのカバー）

- 着なくなったTシャツで作成できます。

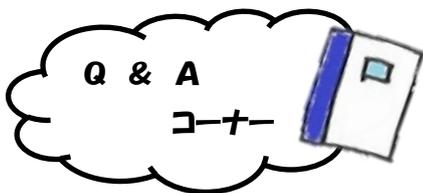
① Tシャツ裏返して脇下をつなげるように縫う

② 縫い目から3cm～5cm残して上部分を切り離し、表に戻して完成！



ひとことメモ

段ボールの主原料は紙と糊のため、土に還ります。古くなった段ボールは細かくして母材に混ぜれば分解されなくなります！肥料として使用する時も問題ありません。



【疑問】

Q カバーがしてあるのに、虫が発生してしまうのは何故？

A 生ごみを入れたときに成虫が入り込んでしまったか、生ごみをコンポストに入れる前に卵を産み付けられてしまったかが考えられます。

生ごみが出たらすぐにコンポストに入れるか、生ごみ入れに蓋をするなど虫に触れない工夫をしましょう。

【工夫ポイント】 野菜くずでだしをとるベジブロスで一石二鳥！

野菜くずを加熱することでコンポストでの分解が早くなる上に、身体に優しいだしもとれちゃいます！だしは、味噌汁やカレー、出し巻き卵など様々な料理に活用できます。

（材料・作り方）

野菜くず…両手一杯分 水…1300ml 酒…小さじ1

①材料全てを鍋にいれて、弱火で20分～30分煮る。②ザルでこす。